

令和4年度 姫路市予算のポイント

1 予算の特徴

- ・全会計を合わせた予算規模は過去第6位、うち一般会計は過去第6位
- ・一般会計における経常的経費は、前年度比66億円増の1,935億円で過去最大(3年度11月及び2月補正予算等を加えると1,966億円)
- ・うち義務的経費は金額、比率とも過去最大、うち扶助費は9年連続で過去最大を更新
- ・投資的経費は、給食センター整備や市川美化センター長寿命化等大型事業の完了により、前年度比70億円減の243億円(3年度2月補正予算等を加えると302億円)
- ・収支不足は33億円で前年度より11億円の減

2 最重点分野

① 少子化対策・子ども支援

多子世帯への出産祝、母子健康支援センター整備、学校給食の第3子以降無償化 等

② デジタル化

遠隔行政窓口の設置、自治体ポイント(ひめじポイント)の活用、デジタル商品券 等

③ グリーン化

ゼロカーボンキャッスル、次世代自動車等の普及促進、事業者向け太陽光発電等助成 等

④ 魅力あるまちづくり

大手前通りのにぎわい創出、アクリエひめじの活用、手柄山中央公園の再整備 等

3 予算規模

全会計合計

3,875億円 (+9億円、+0.2%)…過去6番目(最大=②4,042億円)

◆一般会計

2,178億円 (△4億円、△0.2%)…過去6番目(最大=②2,335億円)

◆特別会計(7会計)

1,109億円 (△6億円、△0.5%)

◆企業会計(3会計)

588億円 (+19億円、+3.4%)

4 一般会計の概要

【歳入】

市税

970億円(+47億円、+5.1%) 企業収益の増加に伴う法人市民税法人税割の増等
地方消費税交付金

126億円(+7億円、+5.9%) 消費の持ち直しによる増

地方交付税

105億円(+5億円、+5.0%) 臨時財政対策債と合わせると162億円(△43億円、△21.0%)

諸収入

70億円(+25億円、+55.0%) 学校給食費の徴収金の皆増等

市債

189億円(△78億円、△29.3%) 臨時財政対策債及び投資的経費の減

【歳出】

経常的経費 1,935 億円 (+66 億円、+3.5%)、88.8%(+3.2 ポイント)

うち義務的経費 1,189 億円(+24 億円、+2.1%)、54.6%(+1.2 ポイント)

人件費 379 億円 (+1 億円、+0.4%)

扶助費 575 億円 (+10 億円、+1.7%)

公債費 235 億円 (+13 億円、+5.8%)

投資的経費 243 億円 (△70 億円、△22.3%)、11.2%(△3.2 ポイント)

補助事業費 89 億円 (△28 億円、△23.9%)

単独事業費 154 億円 (△42 億円、△21.4%)

3 年度 2 月補正予算等と合わせると 302 億円(△47 億円、△13.3%)

5 特別会計、企業会計の概要

卸売市場事業 16 億円 (+5 億円、+41.0%)

国民健康保険事業 539 億円 (△9 億円、△1.6%)

介護保険事業 464 億円 (△3 億円、△0.6%)

後期高齢者医療事業 84 億円 (+1 億円、+0.4%)

水道事業 183 億円 (+7 億円、+4.0%)

都市開発整備事業 3 億円 (△0 億円、△3.2%)

下水道事業 402 億円 (+12 億円、+3.1%)

6 基金、地方債残高(令和 4 年度末見込)

基金 592 億円(△41 億円、△6.5%)

財政調整基金 112 億円 (△33 億円、△22.7%)

21 世紀都市創造基金 137 億円 (+0 億円、+0.1%)

地方債 3,333 億円(△66 億円、△1.9%)

一般会計 2,101 億円 (△34 億円、△1.6%)

臨時財政対策債 906 億円 (△17 億円、△1.8%)

特別会計 121 億円 (△2 億円、△0.9%)

企業会計 1,111 億円 (△30 億円、△2.6%)

7 行財政改革への取り組み

自律的事業点検の実施による既存事務事業の廃止及び見直しを実施

インセンティブ予算(26 件)

対象節減額 132 百万円 → 新規事業への活用 89 百万円

8 国補正予算への対応

国の経済対策に対応し、ワクチン接種など切れ目ない新型コロナウイルス感染症対策等や学校、道路整備等の投資事業について、令和 3 年度 2 月補正予算等と一体的に編成

経常的経費 31 億円 新型コロナワクチン接種事業費、学校の感染症対策 等

投資的経費 59 億円 学校、道路、公園整備 等